



UTO から世界へ！ 第21号

最終回!

緒方先生(国語科) オーストラリア留学記～大学生編～

滞在期間の9か月間はあっという間に過ぎました。この間、外から日本を見て、豊かな風土(特に水と緑)、食、文化の豊かさ、おもてなしの精神、交通網の発達等、本当に日本は素晴らしい国だと改めて感じました。また、ある時、日本の文化について尋ねられたときにうまく答えられず、「え?日本人なのに?」と驚かされてしまったことがあります。外国の文化を知るためには、なによりもまず日本の文化を知っておくことの大切さも実感しました。

オーストラリアから日本へ帰る日、また絶対にオーストラリアに来るぞ!と心の中で誓いました。きっとこの夢をまたいつか叶えたいと思っています。

宇土中学校・宇土高校では海外に触れるチャンス、海外に行けるチャンスがたくさん用意されていると思います。一度外から日本を見てみる、広い世界を見てみる、そうすればきっと自分の価値観やものの見方が大きく変わると思います。「Leap before you look. (見るまえに跳べ!)」、私の好きな言葉を最後にみんなに贈ります。



出会った人々は私の宝物です。

オーストラリア滞在から4年後、ホストファミリーが日本へ観光に来ました。

欧州の大学と人材育成 AIなど 筑波大や慶大に補助 文科省

文部科学省はヨーロッパの大学と連携して半導体や人工知能(AI)などの人材育成に取り組む大学院を支援すると発表しました。2028年度までの5年間、年1億円程度支援されます。対象の大学は以下の10校です。

山形大、筑波大、東京海洋大、金沢大、豊橋技術科学大、東京工大、京都工芸繊維大、岡山大、広島大、慶応大

この10校は、今後、ヨーロッパの大学の修士課程に留学するプログラムをつくります。奨学金も充実するようです。慶応大学でAIを研究して、卒業後はヨーロッパの大学院で研究するなんていう宇土高校生が出てくるのではないのでしょうか。宇土、熊本、日本だけでなく、世界で活躍する宇土高卒業生に大いに期待します!

参考 R6年9月13日付け日本経済新聞

サムスン電子(韓国) ベトナム人に人気の企業

日本より先に少子化問題に苦しんでいる韓国ですが、不足する人材を東南アジアに求めています。韓国の大企業サムスン電子はベトナムのハノイ工科大学(ベトナムのMIT マサチューセッツ工科大学と言われています)から年300人~400人の卒業生を採用しています。ベトナムでは韓国ブームでK-POPや韓国料理が人気なのだそう。

韓国、台湾、中国のグローバル企業が、東南アジアの優秀な人材に狙いを定めています。東南アジアでは、大学などで専門教育を受け、英語も堪能な若い世代が増えています。

熊本も、労働人口が不足しており、今後東南アジアからますます多くの人材を求めることになると思います。果たして、今後、熊本が、日本が、東南アジアから選ばれる国になっているのでしょうか。選ばれる国になるように若い力で未来をつくって行きましょう!

参考 R6年9月12日付け日本経済新聞

